

人口は約二〇〇万人、気温は雨季には三十七度〜三十八度、然も湿度も八〇％程あり環境的には厳しいものがあります。一方収入も平均年約六〇〇米ドルといわれています。それに對しホーチミン市は人口約五〇〇万人といわれておりホーチミン市に來ると都会という印象は免れませ

は蒙古が日本を襲うのに手を貸し、中国は蒙古がベトナムを襲うのに手を貸し両方とも蒙古軍は大敗している。続いて十六世紀後半には日本の海商達が中部ベトナムを訪れはじめ、日本人や大名達が戦費を稼ぐ為に盛んに海外貿易を行った拠点がこの安南であり、一時は五〇〇人の日本人が住み町を形成していたという説もあるようです。

このことよって経済支援も出来、又一方では製紙技術も供与し、その中でお互いのメリットを追求出来る判断したからであります。その為には勿論インフラの整備も欠くことの出来ない最重要案件であることは間違いありません。因みに良く紙の使用量は文化のパロメーターと言われます。日本人の平成八年度の国民一人当たりの使用量は二四五キログラムです。これに對しベトナムは三・五キログラムです。これを見て全て判断出来ると思ひます。

最後に先日或る書物を見ていたら藤本義一氏が思考と行動ということの様な事を述べていました。

1. 思考 ↓ 行動型 (冷静派)
2. 思考 ↑ 行動型 (活動派)
3. 行動 ↓ 思考型 (後悔派)
4. 行動のみ (苛立ち派)
5. 思考のみ (非行動派)
6. 思考行動なし (怠け者)

（日本とベトナムの親近感）古くは十三世紀中国と朝鮮は蒙古の勢力下にあり、同時期に朝鮮は資源が少なく一方、ベトナムにはこれから植林によって資源を確保出来る余地もあるし、そ

先ず第一にあげられることは、平和な世の中になって世界の経済が急速な情報の発達もあって平準化していくということ。従って遅かれ早かれ東南アジア各国も日本の技術に追い付いてゆくということ。日本の国

は資源が少ない一方、ベトナムにはこれから植林によって資源を確保出来る余地もあるし、そのことよって経済支援も出来、又一方では製紙技術も供与し、その中でお互いのメリットを追求出来る判断したからであります。

最後に先日或る書物を見ていたら藤本義一氏が思考と行動ということの様な事を述べていました。

1. 思考 ↓ 行動型 (冷静派)
2. 思考 ↑ 行動型 (活動派)
3. 行動 ↓ 思考型 (後悔派)
4. 行動のみ (苛立ち派)
5. 思考のみ (非行動派)
6. 思考行動なし (怠け者)

機械十六年卒同期会

私共、大学機械工学科昭和十六年三月卒の同級生は総数二十四名中、生存者十一名となりましたが、去る十一月二十八日(日)、東京神田の学士会館でクラス会を開催、写真の左から、高橋、小関、千吉良、豊島、小泉、松野の六名が出席。



十一時から昼食は挟んで、たっぷりとお話しました。来年の再会を約して、二時過ぎ、名残を惜しみつつ別れました。



機械二十四年卒同期会

1. こんばす会の誕生

終戦直後の昭和二十一年(一九四六年)、文部省は陸上・海兵出身者や専門学校卒業生などに大学入学の門戸を開いた。昭和二十一年四月に機械工学科へ入学した時点でまだ東北帝国大学という名称のままであったが、同年一〇月に東北大学と改称された。

他の帝国大学からの転入や航空工学科などからの変転入も許可された。小生も台北帝大から面接のうえ転入を許可された一人である。クラスメートの出身校は高専が十七名、高校・大学予科が八名、海兵・陸士・航士などの軍関係が七名であった。

このクラスは少佐・大尉・中尉などの将校経験者が多く、まことにバラエティーに富んでいた。昭和二十一年は食料や本の不足に悩み、学資の一助にとアルバイトに励んだり、下宿先を転々と変えたり、学生の前途に種々の障害が立ちはだかっていた。なかには学生生活を断念しそうな学生もあらわれていたようである。

二年になったばかりの昭和二十二年五月十五日、「こんばす」なる手作りの新聞第一号が刊行された。加藤正雄氏の巻頭言は「こんばす発刊に際して」という在り来りのものであったが、その内容は概文とも言うべきものであった。そのさわりを紹介しよう。

「大学生活を充実させるのは大学ではなくわれわれ自身である。大学生活を生き生きとしたものにしよう。三十名のクラスメートが人間のつながりを強固にし、相携えて前進を開始しよう。『こんばす』はわれわれのクラスの意思の表現であり、実践の記録であり、また、反省の場である。これは団結発展の一助ともなり、卒業後は大学生活の思い出のよすがになればよいと思う。」

一字一句に無駄が無く、目的を完全に包括して訂正しようのない流麗な文言に感嘆したものである。この後に山のような提案が続くのである。

この提案はクラス自治に関するものである。運動部・読書部・写真部・芸能部・庶務部を作つて、各部に代表を置き、活動状況をこんばすに掲載して報告する。

部活とは別に、こんばすの巻頭でクラスメートがかかるがわ論説を発表して各自の思想と抱負を表明する機会を与える。このほかに、こんばす特報を臨機応変に入れる。こんばす特報は学士試験にそなえた演習問題で先輩などから情報をえていたようだ。これは、各教授の試験問題の傾向と対策とでも言うべきものである。私なども偶然に熱機関第四部と材料工学で満点をとったことがある。学士試験の可否については、事務室前のボックスで各自が確認することになっていた。

上記の細部について若干ふれてみよう。講義のお知らせ・研究室だより・研究第一発表会と講評・教授を囲む座談会・アルバイトと学業の調査など。野球の試合(紅白試合・上級生や下級生や他学部や職員との試合・工明会主催の試合など。これらが契機となって第二回金沢国体の東北代表としてクラスから数名出場したことがある。)・懇親卓球大会や排球大会・工明会運動会・四帝大ポトリレー参加(芳賀・後藤)など種目は多岐にわたっている。



2. 卒業後のこんばす

卒業してからこんばす生活調査・新語解説・夏休みのすし方調査・囲碁や将棋の同好会(対戦成績の発表や研究)・コンパ・新入生歓迎会・屋上座談会(屋上でのだべり)・機械事務室情報など。

なお、一年間に刊行されたこんばすは二〇号、そのうち巻頭言は十五名に及び、五十二年を経た今日でもその発言に熱気を感ずる。二ページびっしり印刷されたこんばすを見るとこんばす本部(加藤正雄氏を中心)の苦心のほどがうかがえる。クラス自治活動が二年間続いたわけだが、提案者の感想からその成否をうかがってみよう。

昭和二十二年(一九四七年)七月一日発行のこんばす八号の巻頭言から一部を抜粋してみよう。「こんばすを通じてクラスの足跡を顧みるに新学期来われわれのクラスがいかに着々と団結を強固にし健全なる発展の歩みが続いてきたかを知り心からなる喜びを禁じえない。それはひつきょうするにクラスメートの個々に本来蔵されていたものが、所をえて発揚され、それらが一つの結晶として成長したためにほかならない。「コンパ」に「教授を囲む座談会」に「運動」に「読書」に「音楽会」にそして「屋上座談会」にわれらの共同生活としての学生生活はいやが上にも高揚され、かつてのそれと比べ如何に生き生きとしたものとなったことである。

生活調査・新語解説・夏休みのすし方調査・囲碁や将棋の同好会(対戦成績の発表や研究)・コンパ・新入生歓迎会・屋上座談会(屋上でのだべり)・機械事務室情報など。

このように、まだ理想にはほど遠いがクラス自治活動が二ヶ月で一応の成果を挙げたとみているのである。

卒業してからのこんばす生活調査・新語解説・夏休みのすし方調査・囲碁や将棋の同好会(対戦成績の発表や研究)・コンパ・新入生歓迎会・屋上座談会(屋上でのだべり)・機械事務室情報など。

このように、まだ理想にはほど遠いがクラス自治活動が二ヶ月で一応の成果を挙げたとみているのである。

卒業してからのこんばす生活調査・新語解説・夏休みのすし方調査・囲碁や将棋の同好会(対戦成績の発表や研究)・コンパ・新入生歓迎会・屋上座談会(屋上でのだべり)・機械事務室情報など。

このように、まだ理想にはほど遠いがクラス自治活動が二ヶ月で一応の成果を挙げたとみているのである。

しかし、一方では遺族を残してあの世に旅立つものが少しずつふえて、五〇周年で一〇名が亡くなってしまった。

昭和三十六年(一九六一年)あたりから遺族(奥様)を準会員にしてはどうかという声が高まってきた。平成三年(一九九一年)三月、東京学士会館の集いで、①こんばす会への参加に夫婦同伴を原則とし準会員の参加をおすすめし②三地区(関東、関西、東北)でローテーションに従ってこんばす大会を開催し③東北地区にこんばす本部を置くというこんばす会規約案が提出され、平成二年(一九九三年)十一月二十八日の仙台での追悼の集いを経て、平成五年(一九九三年)十一月十四日の仙台大会で慶弔規約と共に可決され今日に至っている。規約により平成十一年一〇月現在でこんばす会は会員二十二名・準会員三十二名、計五十四名で構成されている。これらの経緯は平成一〇年(一九九八年)六月十九日発行のこんばす特集号に詳述されている。

「(備考)会名は「こんばす」か「コンパス」か、どちらが正しいか?」

加藤正雄氏に問い合せたとことろ「こんばす」が正しいとのことであった。

コンパス(compasses)は我々の大事な製図器で円を画くのに大切なものである。コンパスで画かれた円のまわりを運行する天体を考えた場合、天体に働く向心力と遠心力が常に釣り合っていて天体が回転し、調和がスムーズに保たれており、羅針盤(compass)の針の向きが一定に保たれている。コンパスと羅針盤の二つを表すには「こんばす」が正しい。こんばすには精神的なものをこめた。羅針盤の針が常に一定の向きを示すことを期待しているわけである。宮本武蔵が杖で円を画いて剣禅一致の精神を示唆した気持ちは分かるような気がする。

相澤 量 恵

(機械工学科24年卒)

機械二十七年卒同期会

一九五二年(昭和二十七年)

三月の卒業となれば齢すでに七〇を超える。ほとんどの同期生は、それなりの業績を残して各界から引退した。今は文字通りの余生に入っている。

卒業時、年に一度は会おうと仙台から各地に散ったが、それは努力目標にとどまった。とくに、働き盛りの頃は集まりにくく、ときとぎれの同級会となった。そんな昭和の戦士たちも、平成に入ることから次第にゆとりがでてきた。ミニ級会なども含めれば、ほぼ当初の目標どおりに、年一度の開催が続いている。

終の棲家は国内各地、会合は比較的在住者の多い首都圏が中心となるが、時には、仙台、中部、関西地方に転じて旧交を暖めている。お互いに元気な姿で会えたことの喜びをわかち合いつながり、気分はいくつになっても学生時代そのものである。

因みに、平成十二年度は一〇月初旬、山梨の温泉地に二泊の予定で今世紀最後の機二七会が持たれる予定である。ところで、我が同期会のことでは会級の諸兄は先刻ご承知である。とすれば、この報告は誰の

機械三十年卒同期会

青葉輝き、吹く風も爽やかな五月の良き日に、青葉三十枝友会の平成十二年総会ならびに懇親会をミレニアム二〇〇〇年に卒業四五周年を記念して我が国大学の発祥地の学士会館で開催することができました。以下にその概要について報告いたします。

平成十二年度青葉三十枝友会総会ならびに懇親会の概要
開催日時 五月十三日(出)

場 所 東京 学士会館
出席者 会員数五十一名中 二十四名、ご夫人四名合計二十八名
出席 十七時より

総 会 十七時三〇分
宮津九三幹事の司会で議事が進行しました。先ず、大橋清喜会長の開会挨拶があり、続いて事務局広田孝氏より会員動静などの報告があった後、議事に入りました。

次年度役員選出は次の通り満場一致で決定しました。
会長 大橋清喜会長重任 (四年目)

ために、そして誰かが読んでくださるのか、いささかのためらいを感じながら、ご依頼にもつき小文を綴った。しかし、ここはあの頃片平丁キャンパスで共に青春を送った同時代の先輩、後輩の諸氏に、そして部活や学友会とくに工明会などで交流のあった方々に、紙面を借りて無沙汰を謝し、合わせて同窓の諸賢のご健勝を記念して筆を措く。

付記：写真は、平成一〇年一〇月の機二七会、ハトバスにての東京見物の一コマ。お上りさんよろしく二重橋をバックの記念撮影。
鈴木 秀 雄 (機械工学科27年卒)



大橋会長は、出身高校卒業五〇周年記念同期会のことと触れ、戦前、戦後の丁度育ち盛りなものが食べられなかったのが、物故者が多いという話があり、間もなく古希を迎える我々も「人生は七〇歳から、七〇歳にしてお迎えあるときは、今、留守と言え」ということで頑張りましょうとの挨拶がありました。

引き続いて、出席者の皆さんからの近況報告がはじまり、健康管理、趣味自慢、生きがい老人大学体験、ご夫人からのアドバイス等、有益な話の数々が熱を込められて披露されました。

特徴的な話題として健康管理面では、高齢者になると罹る病気が、狭心症でも海外旅行を年二回目標に出掛けている人、第四回目の勤務を元気にやっている人、ゴルフでは、エイジシューターで頑張る高齢者の話が出たり、奥さんからはパソコンの話題が出された。

懇親会に先立ち、松山孝弘幹事により、出席者全員の記念撮影を行いました。山崎幸夫幹事の司会で、大橋会長の挨拶および乾杯で開宴となりました。



機械三十四年卒同期会

昭和三十四年機械工学科卒業

生は昨年十一月二十七日房総半島館山駅に三々五々降り立った。三年ぶりの再会に元気な姿を確認し合い、喜びの顔に変わる。ホテルの好意による送迎バスで館山グランドホテルに向かう。東京湾に面し、富士山を仰ぐことができる大リゾートホテルであり、すばらしいゴルフ場のクラブハウスでもある。マイカーで現れる人、最先端技術のアクアラインでやって来る人、それぞれが感激で受付がまならぬ程、再び会えた喜びに浸る。

「青春を想う会」には、我々学生時代のアイドル某夫人が出席時間の歯車が始点に戻る。しかし現実には厳しく平成一〇年七月に学友阿部鉄太郎君を病魔で失い、一同黙とうしてご冥福を祈った。私どもは若くして三人の学

友を失い、今老いの域に入りつつある時、学友が亡くなり、一層のさびしさを感じる。

事前に近況報告を求め、出席者全員に目を通して貰ったものの、卒業以来初めてという参加者もあり、結局全員が「我が人生」を語ることにした。凡そ学友はわが国の産業経済の発展のために働きつづけて来たが、未だ働き癖からも、周囲の期待からも縁が切れずにいる。中には趣味の世界に没入し、新たな成長を実感している学友もあり、その一人から全員に作品の「ぐい呑み」が贈られた。また病氣と闘いながらも元気で頑張っている姿も見られ、サミュエル・ウルマンの云う「青春」そのものであったが、私達の世代はそろそろ会社人間から社会人間に移りつつある。語り合い

は尽きず、一日二十四時間という常識を超越した時間が過ぎた。それにも拘わらず翌日は大海原に向かったのゴルフ、「こんなゴルフは初めて」と開放的なゴルフを満喫した人達、ゆっくりに趣味を楽しみながら帰る人達、日曜日というのに朝食もとらずに職場にかけつける人達、それぞれの歩んできた人生を物語る翌日であった。

この度の出席者は五十三名中二十八名で、今までは三年に一回程度のクラス会であったが、次回は二年後仙台でという声が多かった。我々の人生も第四コーナーを廻ったと言ふことか。この報告を極めて多忙で出席できなかった阿部総長始め、欠席された学友達に送りたい。一杯やりながら学友達を想っている。
矢 吹 雅 男 (機械工学科34年卒)



機械三十五年卒同期会

昭和三十五年に工学部機械工学科を卒業、全員が会社に就職して今年で四〇年になる。その間、同級会は約五年毎に関東地区を中心にして開催されてきたが、三五周年記念で千葉県大宮市に集まった際に、次の四〇周年記念は仙台地区で開催したいという希望が多かったため、今回は仙台の同級会となった。

卒業生五十五名の中で一名は残念ながら若くして他界したが、残る五十四名は健在で、それぞれがいろいろの業種の中で活躍してきて、今も半数以上は現役で頑張っている。寄る年波のせいで、体調が思わしくないものもいるが、今回は、北は地元仙台から、南は遠く福岡から、三十一名の同級生が参加した。

平成十二年五月十四日(日)午後一時に、片平丁構内、卒業当時の機械工学科前に集合した。

その日は休日のため校舎内に入ることができず、思い出の多い製図室、階段教室などは残念ながら見られなかったが、片平丁キャンパスにある新旧の建物、記念碑などを見てまわったり、教養部の頃に利用した食堂や理髪店があった建物を見ては、思い出話をしたりして一時を過ごした。

青葉山キャンパスに移動する前に、一番町の喫茶店で往事を偲んだグループもあった。新緑の中で明るく広々とした青葉山キャンパスを訪れ、工学部周辺を眺めた後、秋保温泉の懇親会会場に移動した。

懇親会には、高校時代に同級生だった幹事が多忙の阿部総長をお願いしてご出席をいただき、最近の大学の概要、七年後の創立一〇〇年を迎えるに当たっての大学基金構想などについてお



東北大学機械工学科 40周年クラス会御一行様

平成12年度通常総会予告

平成12年度通常総会は平成13年5月12日(土)仙台のマークスGホテル仙台(旧宮城第一ホテル)にて開催されます。併せて、内装工事完了で新しくなった機械系1、2号館(旧機械、旧機械第二ならびに旧精密工学科建物)の研究室見学を予定しております。多数会員のご出席をお願い致します。

記

期 日 平成13年5月12日(土)
 11:00-14:30 研究室見学(機械系1、2号館内の主な研究室)
 15:00-15:30 総会
 15:30-16:45 特別企画、「産学連携と同窓会」(仮題)
 17:00-18:30 懇親会

総会・懇親会会場

マークスGホテル仙台(旧宮城第一ホテル)
 仙台市宮城野区榴岡1-2-45
 TEL 022-296-2400

会 費 10,000円(年会費2,000円を含む)

連絡先 東北大学機械系事務局 洞口明子
 TEL 022-217-6926

幹事より：同期会や恩師の先生との再会の場として利用してはいかがでしょうか？

会員の計報

(敬称略)

ご逝去を悼み、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。
 (平成11年9月 同総会ニュース第5号発送後事務局で入手したものを掲載しました。)

太田総次郎	(機7)	11	8	5
魚住 順三	(機11)	11	12	4
鈴木 正彦	(機16)	12	5	11
下斗米文正	(機18)	2		
青木 一彦(旧姓鳥羽)	(機22)	12	2	21
斎藤 多郎	(機24)	12	3	5
高橋 裕雄	(機23)	12	8	29
矢島 啓正	(機27)	12	3	11
宮崎 真一	(機28新)	12	2	21
宮山 繁	(工力21)	12	4	28
西沢 弘式	(工力26)	11	7	4
神原 一巳	(精39)	12	1	9
佐藤 顕	(精56)	11	5	26

会員死亡の時、氏名・学科名・年次・死亡日・住所をご連絡下さい。会長名の弔電を差し上げます。

(連絡先)
 東北大学機械系同窓会事務局 洞口明子
 電話・FAX 022-217-6926

平成十一年度通常総会報告

(敬称略)

平成十一年度通常総会は、平成十二年五月二十日(土)、東京のアルカディア市ヶ谷にて開催された。出席者は、機械三十三名、機械二十五名、精密系六十名の計九十八名であった。

第一部 総会の行事

(十四時三十分～十五時十分)

司会の山本悟(機59)が開会を宣言して、最初に酒井高男(航19)が会長挨拶を行い、多数の出席者ならびに、退任にあたり今まで協力いただいた役員へ感謝の意を述べた。引き続き、酒井会長が議長席について議事を進めた。



- 第一号議案 「平成十一年度事業報告」
- 「同右 出版事業の報告」
- 第二号議案 「平成十一年度決算報告」

「同右 監査結果報告」

を各担当役員がそれぞれ報告し承認された。

第三号議案

「役員改選」

諸般の事情による一部役員の変更が提案され承認された。新任の役員は次の通りである。



会長 楠兼敬(機21)、副会長石井敏夫(機26)、同 鈴木孝(工力27)、幹事 山本悟(機59)、同 山中将(精61)、同 佐藤正喜(機平4)、監事 関根英樹(機40)

第四号議案

「平成十二年事業計画提示」

「同右 予算案提示」
 を各担当役員が行い、それぞれ承認された。当初予定されたもの以外には議題が無く議事は予定通りに終了した。

第二部 特別講演

(十五時十分～十六時五十分)

今回は新しい試みとして五名の同窓生を講師として招き、「ゼロエミッションについて」というテーマでパネルディスカッションを企画した。斎藤幹事(精28)が各講師を紹介したのち、それぞれの専門に基づく話題提供を



提供され、

ていた時間が短く感じられた。懇親会でも講師を囲んで話の輪が続いた。講師を努めて頂いたのは次の方々である。東京工業大学教授清水優史(精41)、秋田県立大学教授加藤正名(精39院)、トヨタ自動車(株)東富士研究所・FC部長中村徳彦(精40)、(株)荏原総合研究所・所長永井弘(機II 43)、(株)神戸製鋼所生産本部・神戸製鉄所発電所建設本部・部長中園政明(機45)

第三部 懇親会

(十七時～十九時)

小林研一(精56)が司会を担当して、楠新会長の開会の挨拶、石井新副会長の挨拶ならびに乾杯で開宴した。



ひとしきりの歓談の後、大学職員を代表して坂真澄(機52)が機械系の現状を説明し、好川紀博(機18)が先陣となってテーブルスピーチを開始した。続いて相沢量恵(機24)、伊藤潔(精34)、太田稜(精35)がそれぞれ近況を交えてスピーチをした。

宴もたけなわとなる中で、同窓会誌・ニュースの編集に長年ご尽力をいただいた大池幹事(航20)に感謝状と記念品を贈呈した。さらに東北大学学生歌「青葉もゆるこのみちのく」を全員で唱和し、大いに盛り上がった。



同窓生との語り合いが尽きない中、鈴木新副会長の閉会の辞をもって盛會裏に終了した。

平成11年度収支決算

自 平成11年4月1日
 至 平成12年3月31日

収入の部

費 目	予 算 額	収 入
前年度繰越金	11,338,729	11,338,729
会費	7,000,000	6,264,690
広告収入	600,000	887,480
総会開催費	800,000	656,000
銀行等利息	8,000	15,067
合 計	19,746,729	19,161,966

支出の部

費 目	予 算 額	支 出
事務経費	60,000	137,865
会誌発行費	1,000,000	700,000
ニュース発行費	400,000	235,819
封筒等印刷費	800,000	387,870
発送費	1,600,000	1,523,095
総会開催費	800,000	578,032
各種手数料	100,000	96,545
東京事務所活動支援金	300,000	300,000
卒業生祝賀会支援金	200,000	200,000
講演会開催費	100,000	100,000
人件費	1,800,000	717,000
予備費	1,000,000	315,021
次年度繰越金	11,586,729	13,870,719
合 計	19,746,729	19,161,966

事務局より

◎同級会(同期会)ニュース

報告・記事の原稿を投稿して下さい。字数800字～1,000字位、記念写真一葉といっしょに。封筒に原稿在中と明記のこと。

(送り先)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉01
 東北大学工学部機械知能工学科内
 事務局 洞 口 明 子

Tel/Fax 022-217-6926

E-mail : dousou@mech.tohoku.ac.jp

ホームページ : http://www.dousou.mech.tohoku.ac.jp/

◎同窓会誌にご投稿を!

テーマ自由。約2,000字。封筒に原稿在中と明記のこと。送り先上に同じ。

◎住所変更の場合、必ず新住所をお知らせ下さい。同時に旧住所の最寄り郵便局で新住所あて回送手続きをとって下さい。

◎海外に駐在される方は、駐在先の住所を連絡して下さい。帰国後は直ちに現住所をお知らせ下さい。

◎懐かしいお写真を事務局までお寄せ下さい。会誌、ニュー スター、ホームページに掲載させていただきます。

編集後記

ご執筆の皆様には厚く御礼申し上げます。今回新たに紙面をA3サイズ1枚裏に変更致しました。より多くの記事を掲載しようと試みたところ文字が小さくなってしまったかもしれません。また、同期会ニュースは、たまたま機械工学科OBの記事だけになってしまいました。他学科OBの近況報告をお待ちしております。